



Formula NIPPON '12

モータースポーツのリーディングペーパー

購読のお申し込みは
0120-026-999
FAX 0120-026-993
http://www.chunichi.co.jp/chuspo/

1ヶ月 2,955円 1部売り 120円

東京中日スポーツ

Support races result (top10)

Pos.	No.	Driver	Car	Time/Gap
1	8	橋本 洋平	Honda Sports & Eco Program CR-Z	21'25.547
2	13	山口 吉明	Honda Sports & Eco Program CR-Z	3.549
3	15	松原 浩史	Honda Sports & Eco Program CR-Z	10.623
4	11	仲宗根 雄太	Honda Sports & Eco Program CR-Z	25.100
5	14	青柳 功二	Honda Sports & Eco Program CR-Z	35.900
6	9	山田 大司	Honda Sports & Eco Program CR-Z	38.241
7	17	斎藤 隆和	Honda Sports & Eco Program CR-Z	41.443
8	19	吉橋 孝之	Honda Sports & Eco Program CR-Z	1'00.249
9	7	本橋 志津	Honda Cars 東京中央 国府川店 CR-Z	1'01.456
10	4	丸茂 聖希子	Honda Cars 千歳 市場店 CR-Z	1'04.594

周回:14周 / 天候:晴れ / コース:ドライ / 出走:16台

Pos.	No.	Driver	Machine	Time/Gap
1	4	平川 亮	広島トヨペットF312	25'30.801
2	37	Richard Bradley	PETRONAS TOM'S F312	11.655
3	1	山内 英輝	B-MAX F312	13.559
4	36	中山 雄一	PETRONAS TOM'S F312	14.046
5	8	野尻 龍也	HFDP RACING F312	15.502
6	2	Rafael Suzuki	MAD CROC TODA F308	22.707
7	20	Gary Thompson	KCMG	36.499
8	23	佐々木 大樹	S Road NDDP F3	36.650
9	35	勝田 貴元	TDP SPIRIT F307	38.273
10	7	平塚 一貴	HFDP RACING F307	38.581

周回:14周 / 天候:晴れ / コース:ドライ / 出走:16台

J-GP3 Official Practice Time

Race Start(15laps): 10:50

Pos.	No.	Rider	Team	Best Time
1	5	山田 誓己 Y	TEAM PLUSONE&ENDURANCE	2'01.437
2	45	長島 哲太	Projectu7C HARC	2'01.745
3	3	仲城 英幸	Projectu7C HARC	2'01.935
4	4	山本 剛大	Team NOBBY	2'02.039
5	55	國峰 琢磨 Y	JARIRacing+ENDURANCE	2'02.122
6	634	徳留 真紀	MuSASHI RT/ハルクプロ	2'02.220
7	1	藤井 謙汰	F.C.C.TSR Honda	2'02.910
8	6	菊池 寛幸	KoharaRacing	2'03.201
9	16	亀井 雄大 Y	18 GARAGE RACING TEAM	2'03.237
10	9	森 俊也	Team NOBBY	2'03.250
11	74	三原 壮紫	ウイダーチームアイファクトリー-BB	2'03.356
12	26	矢作 雄馬	BIR.Racing	2'03.534
13	56	前田 恵助 Y	ウイダー チームアイファクトリー	2'03.657
14	13	岡田 義治	T.ヨシハル ASPIRATION	2'03.680
15	31	佐野 優人 Y	SRS-JwithMORIWAKI	2'03.730
16	21	渥美 心 Y	レーシングチームハニービー	2'03.813
17	75	古市 右京	ASPIRATION A-next	2'03.899
18	12	飯田 志速 Y	team hirock & HARC-PRO	2'03.974
19	50	長尾 健吾 Y	ウイダー チームアイファクトリー	2'04.018
20	70	葛西 雅迪	タニシ&Speed Heart YERC	2'04.051
21	66	藤田 農央 Y	ウイダー チームアイファクトリー	2'04.133
22	20	安田 毅史	TEAM PLUS ONE	2'04.277
23	14	大西 隼	Projectu7C HARC	2'04.334
24	77	山本 恭裕	広島カジクRacing&LRC	2'04.599
25	99	中本 貴也 Y	18 GARAGE RACING TEAM	2'04.658
26	22	高杉 奈緒子	モトナムwithヒロボタマス	2'04.891
27	73	岡部 圭佑 Y	CLUB PLUS ONE	2'05.228
28	46	伊達 悠太 Y	犬の乳酸菌/PRCS&ストルフ	2'05.637
29	43	畑中 要	FTR・タイヤナビ・(株)速藤住宅	2'05.659
30	72	三好 菜摘 Y	オールスターモータースポーツ	2'05.794
31	52	鳥羽 蓮 Y	TEAM TEC2 & TDA	2'06.312
32	88	岡崎 静夏	KoharaRacing	2'06.336
33	93	谷川 壮洋	CLUB PLUS ONE	2'06.387
34	71	中塚 翔太	テルル&イー・モバイル★KoharaRT	2'06.637
35	18	北見 剣 Y	ウイダー チームアイファクトリー	2'06.770
36	44	林 祥由 Y	TEAM YERC トリムキッズ	2'06.862
37	33	川瀬 啓一郎	チーム KOHSAKA	2'07.444
38	29	石崎 司也	MOTOBUM&たかだ農園	2'07.814
39	38	小川 亨	MUSASHI 小川サービズ	2'08.107
40	34	佐藤 正之	BIR Racing	2'08.475

以上予選通過車両: 予選通過基準タイム(110%) 2'13.580
47 安村 武志 犬の乳酸菌JP/プリミティブRT 2'17.957
60 金子 正一 カネゴン&ねこまたレーシング 出走せず
参加台数 42 台 / 出走台数 41 台 ※Y=Youthクラス

J-GP2 Official Practice Time

Race Start(18laps): 11:55

Pos.	No.	Rider	Team	Best Time
1	2	関口 太郎	Team TARO PLUS ONE	R 1'54.405
2	16	中本 都	リリカAMENA with out Run	1'54.822
3	26	渡辺 一樹	RS-ITOH&ASIA	1'54.891
4	10	野田 弘樹	テルル&イー・モバイル★KoharaRT	1'55.054
5	634	浦本 修亮	MuSASHI RT/ハルクプロ	1'55.115
6	3	生形 秀之	エスバルストリームレーシング	1'55.229
7	31	野左根 航汰	ウエビックチームアリクヤマハ	1'55.304
8	34	岩田 悟	CLUB PLUS ONE	1'55.676
9	47	中本 翔	リリカAMENA with out Run	1'55.900
10	51	高橋 英倫	PITCREW&松戸FLASH	1'55.928
11	14	大木 崇行	MOTO BUM HONDA	1'56.738
12	54	井上 哲悟	PITCREW&松戸FLASH	1'57.131
13	57	中村 豊	MOTO BUM HONDA	1'57.349
14	46	星野 知也	ミクニBeatテリヤ&ガリー	1'57.955
15	45	山村 良憲	GBSレーシング	1'58.509
16	19	小口 理	ALLMAN&Owrcing	1'59.330
17	37	赤間 清	MuSASHI RT/ハルクプロ	2'01.601

以上予選通過車両: 予選通過基準タイム(110%) 2'05.845
参加台数 17 台 / 出走台数 17 台
Rマークの車は、コースレコードを更新しました。従来のレコードタイムは 1'54.532

J SPORTS

J SPORTSは今年もFormula NIPPONを全戦放映。サーキットに登場できないファンに、レースの臨場感をお届けします。

●フォーミュラニッポン2012 第5戦 決勝
決勝 5/5(日) 13:30~17:00 J SPORTS3(生放送)
決勝再放送 5/6(月) 13:00~15:30 SPORTS3 (ほかレイト放送あり)
○番組ホームページ: http://www.jsports.co.jp/motor/formula_nippon/

BSフジ BSフジ

決勝日の翌週日曜日(再放送は翌々土曜日)にレースダイジェストを放映します。

●フォーミュラニッポン2012 第5戦 ツインリンクもてぎ
8/12(日) 18:00~18:55[再放送:8/18(土)13:00~13:55]
○番組ホームページ: <http://www.bsfuni.tv/top/pub/formura2012.html>

GyaO!

GyaO!(オンデマンド放送)
大会終了後14日後、24:00よりオンデマンド配信
<http://www.yahoo.co.jp/>

Formula NIPPON Starting Grid

Race start: 14:00

19 ジョアオパオロ・デ・オリベイラ TEAM IMPUL TOYOTA RV8K 01:1'35.045 02:1'34.908 03:1'34.588	20 松田 次生 TEAM IMPUL TOYOTA RV8K 01:1'35.178 02:1'35.155 03:1'34.592
2 中嶋 一貴 PETRONAS TEAM TOM'S TOYOTA RV8K 01:1'34.929 02:1'34.974 03:1'34.600	1 アンドレ・ロッテラー PETRONAS TEAM TOM'S TOYOTA RV8K 01:1'35.435 02:1'35.147 03:1'24.712
41 塚越 広大 DOCOMO TEAM DANDELION RACING Honda HR12E 01:1'34.953 02:1'35.109 03:1'34.722	8 ロイック・デュバル Team KYGNUS SUNOCO TOYOTA RV8K 01:1'34.679 02:1'35.168 03:1'34.624
38 平手 晃平 Project //cerumo-INGING TOYOTA RV8K 01:1'35.344 02:1'35.214 03:1'35.211	3 安田 裕信 KONDO RACING TOYOTA RV8K 01:1'35.150 02:1'35.235 03:1'35.266
40 伊沢 拓也 DOCOMO TEAM DANDELION RACING Honda HR12E 01:1'35.403 02:1'35.523	7 大嶋 和也 Team LeMans TOYOTA RV8K 01:1'35.587 02:1'35.537
32 小暮 卓史 NAKAJIMA RACING Honda HR12E 01:1'35.650 02:1'35.543	31 中嶋 大祐 NAKAJIMA RACING Honda HR12E 01:1'35.559 02:1'35.714
16 山本 尚貴 TEAM 無限 Honda HR12E 01:1'35.417 02:1'35.890	10 金石 年弘 HP REAL RACING Honda HR12E 01:1'35.767
39 国本 雄資 Project //cerumo-INGING TOYOTA RV8K 01:1'35.985	11 中山 友貴 HP REAL RACING Honda HR12E 01:1'37.600
62 嵯峨 宏紀 TOCHIGI Le Beausset Motorsport TOYOTA RV8K 01:1'37.745	18 折目 遼 SGC by KCMG TOYOTA RV8K 01:1'37.781

予選日: 2012年8月4日(土) 出走: 18台
Q1: 天候: 晴れ / 路面: ドライ
Q2: 天候: 晴れ / 路面: ドライ
Q3: 天候: 晴れ / 路面: ドライ
予選通過基準タイム: 1'41.306 (107%)

※本グリッドは公式予選結果をもとに予選通過車両順で作成したもので、主催者による公式発表ではありません。

予選速報電子版

「QUALIFYING NEWS FLASH Plus」予選速報電子版「QUALIFYING NEWS FLASH Plus」には紙面では伝えきれないコンテンツがいっぱい! 全ドライバーの写真、マシンの写真、動画や、普段は見ることのできない公式通知など情報満載! 予選速報を読み終えたら左のQRコードからアクセス!! (無料)

2012 フォーミュラニッポン年間スケジュール

Rd.1 4/14.15 鈴鹿サーキット	Rd.5 8/4.5 ツインリンクもてぎ
Rd.2 5/12.13 ツインリンクもてぎ	Rd.6 9/22.23 スポーツランドSUGO
Rd.3 5/26.27 オートポリス	Rd.7 11/3.4 鈴鹿サーキット
Rd.4 7/14.15 富士スピードウェイ	SPL 11/16~18 FUJI SPRINT CUP

本紙への広告掲載のお問合せは:
株式会社 日本レースプロモーション
〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-25
03-3237-0131 <http://www.f-nippon.co.jp>

QUALIFYING NEWS FLASH Rd. 5

予選速報 2012 全日本選手権フォーミュラニッポン 第5戦 2012年8月5日(日) ツインリンクもてぎ www.f-nippon.co.jp

Series Partner: HONDA TOYOTA
Series Supporter: BRIDGESTONE
Series Supporter: 観光庁 Japan Tourism Agency



8月4日(土)、全日本選手権フォーミュラニッポン第5戦の公式予選が、ツインリンクもてぎ(栃木県)で行われ、No.19 ジョアオパオロ・デ・オリベイラ(Team IMPUL)が、1年ぶりのポールポジションを獲得した。

Q1はデュバルがトップタイムを記録

午後1時半、20分間のQ1開始時点で、気温は31度、路面温度は42度という状況。開始直後からほとんどのマシンがユースドタイヤを履き、マシンの状態を確認。その後、一旦ピットに入り、残り時間が10分あたりから、ニュータイヤでのタイムアタックへ。早目のアタックに入ったのは、No.16 山本尚貴(Team 無限)やNo.1 アンドレ・ロッテラー(PETRONAS TEAM TOM'S)。だが、ロッテラーはタイムアタックに入る前のドライバーに次々と引掛かる。それでもロッテラーは何とか1分35秒435をマーク。辛くも11番手でQ1をクリアした。上位争いは、まず1分34秒台に入ったNo.2 中嶋一貴(PETRONAS TEAM TOM'S)がターゲット。このタイムをコマ3秒近く上回ったのは、No.8 ロイック・デュバル(Team KYGNUS SUNOCO)だった。さらに、No.41 塚越広大(DOCOMO TEAM DANDELION RACING)も34秒台をマーク。以下、No.19 ジョアオパオロ・デ・オリベイラ(Team IMPUL)、No.32 小暮卓史(NAKAJIMA RACING)、このQ1でニュータイヤを2セット使用したNo.3 安田裕信(KONDO RACING)と続く。トラフィックに引っかかったロッテラーも、何とか11番手に留まり、Q1突破を決めた。一方、Q1敗退はNo.10 金石年弘



J-GP2は関口太郎がコースレコードを更新!
J-GP3は山田誓己がポールポジション!!
J-GP2は、関口太郎が開戦以来、今季2度目のポールポジションを獲得。決勝は逃げる事ができるか? J-GP3の山田誓己は、ホームコースでうれしいポールポジション!!



(HP REAL RACING)、No.39 国本雄資(Project //cerumo-INGING)、No.11 中山友貴(HP REAL RACING)、No.62 嵯峨宏紀(TOCHIGI Le Beausset Motorsport)、No.18 折目遼(SGC by KCMG)だった。

午後2時ちょうどに20分間のQ2が始まる。開始から1分半までは誰も動かず。まず真先にニュータイヤでコースに入ったのは、ロッテラー。しかし、「まったくグリップが感じられなかった」と、1コーナーで軽くコースアウト。そこから1周走って仕切り直し。その後にはアタックするドライバーでは、まず塚越がトップに。これを一貴が上回る。さらに、チェッカー目前にデ・オリベイラが、Q2でのトップタイムを叩き出した。以下、4番手にロッテラー、5番手にNo.20 松田次生(Team IMPUL)、6番手にQ1トップのデュバル。Q3進出を逃したNo.40 伊沢拓也(DOCOMO TEAM DANDELION RACING)、No.7 大嶋和也(Team LeMans)、小暮、No.31 中嶋大祐(NAKAJIMA RACING)、山本だった。

TOM'SとIMPUL、チームメイト同士の激闘
14時17分、ポールポジションを最終決定する7分間のQ3が始まる。開始1分半で各車がコースへ。ここでは、一貴、ロッテラーが真先にコースへ。さらに、デュバル、塚越、初のQ3進出を果たした安田、No.38 平手晃平(Project //cerumo-INGING)と続き、デ・オリベイラと松田は最後にコースへと入る。

残り約2分で、一貴が1分34秒600の全体ベストタイムを叩き出し、トップに立つ。続いてアタックを行ったロッテラーは、コマ1秒あまり、一貴に及ばず、この時点で2番手となったが、PETRONAS TEAM TOM'Sの2台が速さを見せる。だが、セッションの残り時間が1分を切ったところで、デ・オリベイラがこの2人のタイムを上回る1分34秒588をマークした。さらにデ・オリベイラにはわずかに1000分の4秒届かなかったものの、松田も一気に2番手進出。TEAM IMPULが2008年5戦鈴鹿以来のフロントロー(決勝グリッド最前列)独占を果たしている。デ・オリベイラ自身も昨年の第4戦もてぎ以来1年ぶりのポール獲得だった。



J-GP2/J-GP3

予選速報は4コマです!

Pole Position No. 19 ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ TEAM IMPUL

この場に戻ってくることができて、うれしい



久しぶりにこの場(記者会見)に戻ってくることができて、うれしい。もてぎではオーバーステアの傾向があるってわかっていたので、午前のフリー走行では問題を解決するために時間をかけたんだ。結果的に改善できたし、いい状況へ持っていけたね。朝はコンディションが安定せず、あの中ですべてを見極めるのは難しかったけれど、最終的に僕たちはクルマの方向性を見つめることができた。予選では、Q1とQ2で少しセッティングを変えて、Q2を終えた時点では、エンジニアにグリップが少ないことや、オーバーステアになってきたということは伝えたよ。だけど、それだけ。Q3もQ2と同じセットでアタックした。セットは変更してないよ。Q2からフロントに着ることができていたからね。先週、(リタイヤに終わった)SUPER GTは残念だったけど、このもてぎでは結果を出したいと思っているよ。

強豪、激突!!チャンピオン獲得の鍵はこの一戦に!もてぎは抜けない?非常に僅差の予選だけに、決勝での逆襲は十分あり!?

2nd No. 20 松田 次生 TEAM IMPUL



1000分の4秒差で負けたのは悔しい

毎回、フォーミュラニッポンを走るときには、(復帰したことを意識して)突っ込み過ぎないようにとか、いろいろと考えながら修正をして、クルマも予選に合わせて細かいところのセッティングをするんです。それがうまくいったと思います。Q3ではタイヤの内圧、車高を微調整し、それが良い方向に働いて大きなタイムアップにつながった、という感じです。ただデオリベイラ選手と1000分の4秒差で負けたのは悔しいし、もうちょっとフリー走行でいいところに入れたいから、また状況は変わっていたかもしれないですね。

4th No. 1 アンドレ・ロッセラー PETRONAS TEAM TOM'S



ストレスの溜まる予選だった

ストレスの溜まる予選だったね。Q1ではトラフィックに引っかかった。特にQ2は最悪だった。普通に1コーナーに入って行ったら、全くタイヤのグリップがなくて、それで飛び出してしまったんだ。朝の練習走行の時は、ニュータイヤのグリップを感じ

3rd No. 2 中嶋 一貴 PETRONAS TEAM TOM'S



手応えはあったのに、3番手ですごく悔しい

朝の走り始めは少し良くなかったのですが、徐々に良くなり、ニュータイヤでの状態も悪くなかったです。Q1があまり良くなかったので、Q2にかけて少し調整をし、路面コンディションも上がっていい感じだったので、Q3でも微調整をしてアタックしました。コンディションは一番良かったし、人間も3度走れば(調子も)上がってきますよね(笑)。ただ手応えはあったのに、帰ってきたら3番手だったのですごく悔しい。でも自分なりにには力は出せたと思うんで、頭を切り替えて、決勝レースでいい走りができるよう戦いたいです。

5th No. 41 塚越 広大 DOCOMO TEAM DANDELION RACING



厳しい戦いだが、精いっぱいガンバる

前回の富士がボロボロだったので、どこかで取り返したいという気持ちがありました。エンジニアと今後のレースに向けてどういふクルマにしていこうかと話もしましたし、今日はフリー走行から順調に進んで、悪くない流れだったんです。予選も、フリー走行からやっている方向がいい方向に進んだので、今日の結果は現状を表しているんだと思います。確かに地元のスーパースタートなので、みんなの力をもっといい結果に繋げたかったという思いもあります。決勝も厳しい戦いになるでしょうが、精いっぱいガンバります!

Round 5 MOTEGI Preview

IMPULとTOM'Sの対決はタイトルにも影響!?
塚越&Hondaの巻き返しにも注目だ!

TEAM IMPULのジョアオ・パオロ・デ・オリベイラと松田次生がフロントローを独占。現在、ランキングトップ2につけるPETRONAS TEAM TOM'Sの中嶋一貴とアンドレ・ロッセラーがセカンドローにつけるという結果になった昨日の予選。オーバークイックが容易でないとされているツインリンクもてぎでは、この結果が重要な意味を持つ。現在、ランキング4位のデ・オリベイラは、ここで大量得点しなければ、今後のタイトル争いが厳しくなるため、今回はポールトゥウィンが絶対条件。対する一貴とロッセラーは、このデ・オリベイラを何としても止めたいところだ。

Round 5 MOTEGI Topic

2013年からの新シリーズ名称は午前9時50分発表!
来季の開催スケジュールは同じ7戦で調整中

フォーミュラニッポンの現在進行形の話題取材記者に提供するフリースタイルの公式会見「サタデーミーティング」。株式会社日本レースプロモーションの白井裕社長と記者団との今回の話題は、まず先に公募された2013年シーズンから使用されるシリーズの新名称のこと。気になる新名称は今大会の決勝日、8月5日の午前9時50分からの発表記者会見にて公表されることになった。記者会見の様子は場内のビジョンでも放映されるとのこと、応募した人もそうでない人もぜひ注目してほしい。

るのか。あるいは、デ・オリベイラがホールショットを奪うのか。はたまた一貴が2人のつば競り合いを横目に、一気にトップに立つのか。今年ここまで、あまりいいスタートを切れていない松田も、今回はチャンス。絶対にトップを狙ってくるはずだ。その後の戦いでは、ピット作業がポイント。第2戦もてぎと同様、第1ステント(給油のピット前の走行)でいかに燃費を稼ぎつつ、速いペースで周回を重ねるのか。見えないながら激しい戦いが繰り広げられることとなる。この点ではトヨタ有利とも言われるもてぎだが、前戦の雪辱を誓う塚越の巻き返しにも注目だ。

タイムスケジュール(決勝日)	
8:00 > 8:15	J-GP3フリー走行
8:25 > 8:40	J-GP2フリー走行
8:50 > 9:20	Formula NIPPONフリー走行
9:20 > 9:30	Formula NIPPONスタート練習
9:40 > 10:20	PIT WALK
10:50 >	J-GP3 決勝 (15周)
11:55 >	J-GP2 決勝 (18周)
14:00 >	Formula NIPPON 第5戦 決勝 (52周)
16:05 >	F3 第8戦 決勝 (20周)

2012 MFJ SUPERBIKE EXPRESS Rd. 5 MOTEGI 2&4 RACE

5 QUALIFYING PRACTICE REPORT & INTERVIEW

関口太郎がイニシアチブを握るJ-GP2

J-GP3はセナ、哲太、仲城、山本タケ、國峰、徳留

6台がトップグループを形成しそうだ!

J-GP2 QUALIFYING PRACTICE REPORT & INTERVIEW

昨年に続き、ツインリンクもてぎでは2度目となる2&4レースを迎えた。今年、全日本ロードレース選手権はシリーズ第5戦として開催され、J-GP2クラスに加え、J-GP3クラスも行われた。厳しい暑さの中で行われた公式予選。今回が3戦目となるJ-GP2クラスは前日の走行で1分53秒をマークしている関口太郎が予選セッションも圧倒。1分54秒405をたたき出しコースレコードを更新し、同じツインリンクもてぎで行われた開幕戦に続き、今季2度目のポールポジションを獲得した。「(1分53秒台を出した)昨日の本命は4輪のF3が走る前だったので条件がよかったみたいですね。予選では、1分54秒台で走れていますし、肩の状態もよくなっていないので単独で逃げる事ができれば一番いいですね」と関口。

実際、4輪が走った後は、全体的にラップタイムが落ちていた。土曜日からフォーミュラニッポンも走り始めており、予選の走り始めは路面の状況を確認してからタイムアタックに入るライダーがほとんどだった。セッション終了後は、それほど影響を受けていないという意見と、すごく影響を受けるという意見が両方聞かれた。予選2番手につけた中本郡は、影響を受けたと語った一人。これはど路面状況が変わるとは思いませんでした。バイクのフィーリングが全く変わってしまいましたから。ベストタイムを単独で出せましたが、今ひとつ安定しないので、決勝朝のウォームアップで確認して決勝ではベストを尽くします」と中本。

J-GP3 QUALIFYING PRACTICE REPORT & INTERVIEW

J-GP3クラスは史上初めての2&4レースとなる。4輪のラバーの影響を受けることを初めて体感するライダーがほとんどで、変化する路面コンディションをどう攻略するかがカギを握っていた。その難しいコンディションの中で、ポールポジションを獲得したのは、ツインリンクもてぎをホームコースとしている山田哲己だった。「本当は2分0秒台を狙っていたのですが、今回の路面コンディションでは難しかったですね。マシンもいい状態に仕上がっているのでもホームコースで勝ちたいですね。ただ、長島選手は、金曜日ほとんど走っていない状態です。2番手、3番手の仲城さんもマシンが走っているようなので気になるところですね」と山田。昨年のオートボリサウンドに続き2度目のトップグリッド獲得となった。

山田が警戒する長島哲太は、「やっとフリー走行が終わった感じがします。予選が始まった直後は、自分の思ったところで止まらず、まとまっていなかった。ラストアタックで何とか2番手に入りましたが、いい方向に向かっています。オープニングラップは路面が汚れていそうなので気をつけますが、ガンガン行きたいですね」と長島。そのチームメイトの仲城は「予選ではセトを変えていいところを伸ばす方向でセッティングができました。マシンの状態はいいので、自信がありますね。トップ争いは、なるべく少ない台数にしたいので、レースを引っ張

ポールポジション INTERVIEW J-GP2

Pole Position Taro SEKIGUCHI 関口 太郎 Team TARO PLUS ONE

「今年は8耐に出場しなかったため、体力や準備のことを考えるとスケジュール的には出なくてよかったけれど、ツインリンクもてぎはスポーツ走行を1度走っただけなので不安だった。前戦からのインターバルは、モトクロスやトライアルなど、なるべくバイクに乗るようにしていました。(完治していない)左肩の神経が戻らないので、他の部分で補って走るように心がけていたけれど、金曜日の走行で1分53秒台が出た自分でも驚いた。バイクのセッティングは、いい方向にきているので、決勝は最後まで体がもつように気をつけて走ります。できれば淡々と走って引き離したいけど、そうはいかないと思うので状況をよく見て行きます」



レコードタイムで今季2度目のポールポジションを獲得した関口太郎

J-GP3 QUALIFYING PRACTICE REPORT & INTERVIEW

るかもしれませんね」とコメント。速さを持っている長島と仲城の7C勢がレースを引っ張りそうな雰囲気。これをポールポジションの山田、セカンドローの山本剛大、國峰琢磨、徳留真紀が追う展開となりそう。ベテランの菊池寛幸も本番に強いライダーだけに、トップ争いに加わってくるか? 長島と仲城のペースに何人のライダーがついていけるのだろうか? スポット参戦のMotoGPロードレース世界選手権Moto3クラスに参戦中の2011年チャンピオンの藤井謙汰は、トラブルが多く満足に走れていないが、マシンセッティングがいい方向にいけばトップ争いに絡んでくるだろう。また、代役参戦の安田毅史は、マシントラブルもあり2番手グリッドから追い上げのレースとなる。

ポールポジション INTERVIEW J-GP3

Pole Position Sena YAMADA 山田 哲己 TEAM PLUSONE&ENDURANCE

「今まで2&4を経験したことがなくて、金曜日に行ったときに路面の状況がひどかったので、予選のはじめは慎重に走りました。まずユースドタイヤで路面を確認して、状況を見極めてから新品タイヤでアタックしました。チームも頑張ってくれていて、マシンの戦闘力を上げてくれたので、ポールポジション獲得という形で応えることができてよかった。ツインリンクもてぎは開幕戦でノーポイントという悔しい結果に終わっているので、その悔しさを今回のレースにぶつけていきたい。決勝は混戦は避けられないと思いますが、地元のスピンリンクもてぎで初優勝を決めたいですね」



BS12ch TwellIV(トゥエルビ)は全国無料放送!! 「MFJ全日本ロードレース選手権第5戦もてぎ2&4レース」をダイジェストでお届け。 ☉番組ホームページ: http://www.twelliv.co.jp/program/sports/index.html#spo60